



蛇の池 (平郡三景)
海に近いが、淡水池。漁師が女性に呼ばれ、
「平郡に渡りたい。お礼として一度だけ船一杯の獲物を獲らせてあげよう」と頼みこまれ、女性と平郡に渡し、網をいれ、大量の魚が獲れた。女性の言葉をまもりにして二度目を入れると、たまたま蛇と化したという伝説がある。

赤石神社
赤い石が御神体となっている。特に腰から下の病に効くという効能は知られている。旧暦6月10日に「赤石祭り」があり、多くの参拝客でにぎわう。

西日本のケイソウドック
攝津平郡工場

千八群落 (やまの名木)
赤崎一帯にごく少数残っていた貴重な植物。最近は見つかっていない。

田平大明神
七浦七明神の一つ。



大久保大明神
七浦七明神の一つ。タリキ、ヤブニッケイ群落はやまの名木に数えられている。

バツナキ群落 (やまの名木)
風の激しく当たる所で、高さは3m以下。



駆逐艦「梨」慰霊碑
1945(昭和20)年7月28日、平郡島沖の海戦で、敵機連発150機の攻撃を受け爆沈し、多数の戦死者が出た。1987(昭和62)年に慰霊碑が完成。

掛津島
▲ 200.6m

掛津島
面積0.8km²の無人島。昭和20年代まで畑があり、サツマイモやミカンも植えられていたという。島には貴重な植物が数多くあり、バツナキやアコウ、ナシカズラ群落(ココロ)はやまの名木に数えられている。

至柳井港
平郡西港
柳井港
1時間

伊場
平郡西松次園 参照
松葉川
開妙見社
円寿寺
開(重道八幡宮)
鶴前
ムクゲ群落 (やまの名木)
夏に花を咲かせる。

平郡航路
柳井港と平郡東港を1日2往復、フェリ-のため車を載せることができる。(要予約、TEL 0820-22-2552)

平郡東港→平郡西港→柳井港	柳井港→平郡西港→平郡東港
6:00 → 6:40 → 7:40	1便 8:30 → 9:30 → 10:10
14:00 → 14:40 → 15:40	2便 16:30 → 17:30 → 18:10

盆・年末年始は増便あり。運賃大人1570円、小児790円(柳井⇄平郡東西) 大人630円、小児320円(平郡東⇄平郡西)

南側の道路は
車両通行困難。

阿高大明神
七浦七明神の一つ。ヤブニッケイを主とする社叢がある。



高野浦大明神
七浦七明神の一つ。社叢は面積が広く、ムクゲ、ヤブニッケイ群落はやまの名木に数えられている。

ヤナギ群落
ジャナギの群落。やまの名木に数えられている。

今大明神
七浦七明神の一つ。アヤマチの大木がある。

自生モモ群落 (やまの名木)
4月初旬に開花。9月に果実が熟する。

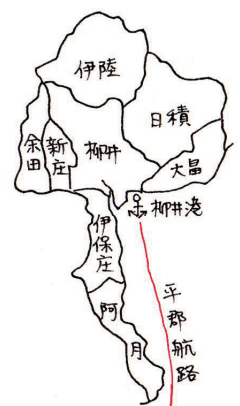


大獄 (平郡三景)
羽仁地区の背後にある立岩。「千畳敷と称する奥の深い洞窟がある。大獄中には海軍の施設が設置されている。

ハンドウ島
無人島。周辺は釣り場。



0 500 1000m



- 平郡地区をもっと知りたい時は、以下の文献をごらん下さい。
- 『平郡島史』 境吉之丞, 1978年
 - 『新平郡島史』 新平郡島史編集委員会, 1995年
 - 『写真集ふるさとの風景 - 平郡西地区 -』 新平郡島史編集委員会, 2004年
 - 『写真集ふるさとの思い出 - 平郡西地区 -』 新平郡島史編集委員会, 2004年
 - 『写真集ふるさとの思い出 - 平郡東地区 -』 新平郡島史編集委員会, 2005年
 - 『1985年度調査報告書「常民」山県柳井市平郡調査報告書』 中央大学民俗研究会, 1987年

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日柳郡第79号)」

柳井お宝マップ
平郡地区編
制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2020.5.14修正

幽霊船の怪(伝説)
1875(明治8)年、大坂丸が沈没し多数死した。その時の霊が浮かべられ、今にも幽霊船が出没するという伝説がある。

五十谷三島 (平郡三景)
三つの小島が連なっている昇勝地。はじめ官島と呼ばれ平郡島に住む人々の島を周囲を測りたところ、長さ不足し、「こはいやいや」と藤島に渡された。それが五十谷の地名の起りである。

